

Emerging 2018 トーキョーアーツアンドスペース本郷



第1期 2018年7月14日（土）～ 8月12日（日）

第2期 2018年8月25日（土）～ 9月24日（月・祝）

若手作家を育成支援するプログラム「Emerging 2018」

「Emerging (旧 TWS-Emerging)」は、35歳以下の若手アーティストを対象とした公募展「トーキョーワンダーウォール (TWW)」(2000年～2016年)との連携により、2001年から実施しているプログラムです。

「Emerging 2018」では、「TWW2013～2016」の入賞者および入選者を対象に公募し、審査を経て選ばれたアーティスト6名が、TOKAS 本郷で2期にわたり展示を実施します。また、各会期初日には、専門家をゲストに招き作家とのオープニング・トークを予定しています。

■ 展覧会概要

展覧会名： Emerging 2018

会期/アーティスト： 第1期 2018年7月14日（土）～ 8月12日（日） / 千原真実 清水総二 中野由紀子

第2期 2018年8月25日（土）～ 9月24日（月・祝） / 堀園実 福田絵理 平田尚也

会場： トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間： 11:00-19:00（最終入場は30分前まで）

休館日： 月曜日〔ただし7月16日、9月17日、9月24日は開館〕、7月17日、8月13日～ 8月24日、9月18日

入場料： 無料

主催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース

ウェブサイト： <http://www.tokyoartsandspace.jp/>

◎ オープニング・イベント

16:30-18:00 オープニング・トーク / 18:00-19:00 交流会

オープニング・トークでは、各展示スペースで、ゲストと出展作家が作品や制作についてお話しします。

第1期 | 7月14日（土） ゲスト： 米田尚輝（国立新美術館 研究員）

第2期 | 8月25日（土） ゲスト： 榎田倫広（東京国立近代美術館 研究員）

（敬省略）

< お問い合わせ >

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース 広報担当：市川、荻田

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

※トーキョーアーツアンドスペースは、平成29年10月1日よりトーキョーワンダーサイトから名称を変更しています。

■ 参加作家／広報用画像 ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

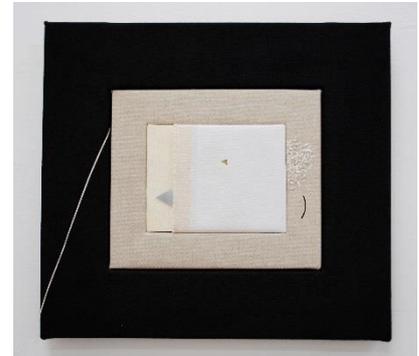
■第1期 2018年7月14日(土)～8月12日(日)

千原真実 「Oscillate/deviate」

当たり前に見ていた風景が、長い時間をかけて変わることへの気づきをテーマに作品を制作。平面作品を構成する「枠」や「余白」、展示室の「窓」といった“境界”に着目し、その内側と外側を分け隔てることにより、変わっていく景色や人間の記憶の可視化を試みます。

◆プロフィール◆

1985年熊本県生まれ。東京都を拠点に活動。2008年東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業。2011～2013年シュテーデルシューレ ゲストスチューデント(フランクフルト、ドイツ)。主な個展に「ちいさいおうち」(CRISPY EGG GALLERY、神奈川、2017)、主なグループ展に「Art area project 2017 『SUPER OPEN STUDIO』」(REV、神奈川)、「地への浸透を想う」(西荻窪 Gallery 494、東京、2015)、「こっちへ」(GALLERY+PLUS、東京、2015)、「小さな林と千の原っぱ、小林達也・千原真実二人展」(SAKURA GALLERY、東京、2014)など。



1. 《Untitled》2018 アクリル、油彩、アルミ板、キャンバス 42.5×45.5cm

清水総二 「Doublethinkwise」

ジョージ・オーウェルの小説『1984』における「二重思考(Doublethink)」という、矛盾した二つの事柄が内包され得る概念を用いて展示を構成。美術品や家具のように、付随する歴史や文脈によって全く異なった定義を与えられるオブジェクト(作品)を展示室内に配置することで、それぞれの関係性を問い、美術鑑賞という行為への再考を提示します。

◆プロフィール◆

1983年三重県生まれ。東京都を拠点に活動。2012年筑波大学芸術専門学群美術専攻卒業。主な展覧会に「The violent silence of a new beginning」(Studio Khana for Contemporary Art、カイロ、2017)、「Bebop」(XYZ collective、東京、2016)、「世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞記念発表『清水総二展』」(世田谷美術館区民ギャラリー、東京、2015)、「Itch」(みどり荘、東京、2015)、「クロスディゾルブ」(遊工房アートスペース、東京、2014)、「アラフドアートアニュアル2013」(土湯温泉町、福島)など。



2. 世田谷美術館区民ギャラリーでの展示風景 2015 撮影：椎木静寧

中野由紀子 「見すごしているもの」

日常生活の中で気になったものや風景の断片のモチーフをそのままのかたちで紙に描いて切り抜き、展示室の壁面に構成したコラージュと、そのモチーフを自身の記憶に取り込み、イメージ化して表現したキャンバス作品で空間をつくりあげることにより、記憶というフィルターを介してモチーフが姿を変える様子を表現します。

◆プロフィール◆

1989年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2015年多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻油画研究領域修了。主な展覧会に「-画廊からの発言-新世代への視点2017 中野由紀子展『近くの空き地、遠くの景色』」(藍画廊、東京)、「中野由紀子展『昔の日記、通勤と散歩』」(circle [gallery & books]、東京、2017)、「中野由紀子展『かわる景色』」(藍画廊、東京、2016)、「五美術大学展」(国立新美術館、東京、2015)など。受賞・助成歴に「アクリルガッシュビエンナーレ2016」佳作、「第31回ホルベイン・スカラシップ」奨学生(2016)。



3. 《昔の日記、通勤と散歩》2018 アクリル、紙 サイズ可変

■第2期 2018年8月25日(土)～9月24日(月・祝)

堀 園実 「なみうちぎわの協和音」

人々が経験から得た感覚や知識を用いて、視認できる情報から物事を即時にカテゴリ化する(=「解釈」という行為に着目した堀は、机や本、日用品といった見慣れた物体を粘土という素材に置き換え、質感や色、文字などの情報を抜き取ることで、物事の差異を生み出す要因を不明確にし、その「解釈」の再構築を試みます。

◆プロフィール◆

1985年静岡県生まれ。静岡県を拠点に活動。2009年沖縄県立芸術大学大学院彫刻専攻修了。主な展覧会に「ファルマコン-医療とエコロジーのアートによる芸術的感化」(ターミナル京都、京都/CAS、大阪、2017)、「2015 イチハナリアートプロジェクト+3」(浜比嘉島、沖縄)。受賞・助成歴に平成28年度文化庁新進芸術家海外研修制度1年研修(パリ国際芸術都市レジデンス、2016)、「グランシップアートコンペ2011」グランシップ賞、「アート・ミーツ・アーキテクチャーコンペティション(AAC)2006」最優秀賞。



4. 《なみうちぎわの協和音》2018
粘土、サイズ可変

福田絵理 「その世界に触れたとき、それゆえ、」

福田は、幼少期の経験から「部屋の中」や「家のような形」といった身体を守ってくれる場所や、心の内側にこもったときのひとり遊びを想起させる作品を描いています。福田自身が見た夢やかつての記憶の中に没入していくような展示空間を作り出します。

◆プロフィール◆

1988年東京都生まれ。東京都を拠点に活動。2015年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。主な展覧会に「BankART Life V “観光”」(BankART Studio NYK、神奈川、2017)、「群馬青年ビエンナーレ2017」(群馬県立近代美術館)、「そこ、」(櫻木画廊、東京、2016)、「FACE2016損保ジャパン日本興亜美術賞展」(損保ジャパン日本興亜美術館、東京)。受賞・助成歴に「第32回ホルベイン・スカラシップ」奨学生(2017)など。



5. 《壁》2017
油彩、キャンバス、130×194cm

平田尚也 「ヨ, Parallels, Invulnerability」

平田は、空間や時間、物理性などをテーマとして、仮想空間の中に物質から開放された新たな秩序をもったモノを存在させる作品を制作。インターネットから収集した3Dオブジェクトを再構成し、それらに動きや変化を加えて物語性のある映像作品を制作することにより、リアリティの拡張における可能性について模索します。

◆プロフィール◆

1991年長野県生まれ。東京都を拠点に活動。2014年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。主な展覧会に「第18回グラフィック『1_WALL展』」(ガーディアン・ガーデン、東京、2018)、「EWAAC London」(La Galleria Pall Mall、ロンドン、2017)、「PLUS ULTRA 2015」(スパイラルガーデン、東京)、「Art Jam 2014」(Gallery Jin、東京、2014)「New Artist 2014」(Gallery Jin、東京、2014)。受賞歴に「第21回文化庁メディア芸術祭」アート部門審査委員会推薦作品選出(2018)、「第18回グラフィック『1_WALL展』」グランプリ(2018)。



6. 《Repetition game》2017
HDビデオ、5分00秒

Emerging 2018 広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5633-6374**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請し直してください。

※画像は、メールにてデータをお送りします。お手元に届くまでのお時間を1~2日ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像は、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web での掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記などを施してください。

※事前に記事原稿を拝見させていただきますよう、お願いします。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD等は下記宛にお送りください。

〒135-0016 東京都江東区東陽7-3-5 東京都現代美術館リニューアル準備室3F

公益財団法人東京都歴史文化財団

トーキョーアーツアンドスペース 広報担当: 市川、荻田

TEL: 03-5633-6373 / FAX: 03-5633-6374 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp